

宗谷の「先生」をつなぐ月刊誌 Soya

9

2020 September vol.5

宗谷管内の魅力いっぱいの情報誌
毎月無料で机上にお届け!



Photo:利尻の夏の風物詩・昆布干し

戦後75年の節目だからこそ 子どもたちに平和の意味を伝えよう

活動の意味や意義を確かめ合う 学校づくりを進めよう

授業づくりの玉手箱④「中学校・道徳の授業」

私のおすすめ「下沼湧水」

私の職場を紹介します!

私の職場を 紹介します!

利尻富士町立鷺泊中学校/村上 舞

全校生徒50名の鷺泊中学校は、利尻島の北東に位置します。雄大な利尻富士の麓、このたび転入してきた私と加藤先生で、新たに分会をスタートすることになりました。

私と加藤先生を含め、実は今年の転入者のほとんどが中学校未経験。そんな私たちを支えてくれるのが、頼りになるベテランの先生方です。離島交流のおかげもあり、宗谷以外の様々な管内で勤務経験のある先生が揃っていることが、鷺泊中の大きな特色と言えます。出身や所属、考え方は様々ですが、気軽に声を掛け合うことのできる雰囲気もあり、転入組として非常に助かりました。

鷺泊中のもうひとつの特色と言えば、校務分掌のひとつかと思ふほど、先生方が昆布干しのお手伝いをしていること! 朝早く起きるのはつらいですが、懸命に並べた昆布を眺めるのは壮観です。豊かな自然・おいしい海産物・可愛い子どもたちに

囲まれて、皆さんも利尻島で先生をやってみませんか?お待ちしてま〜す。
v(^_ ^)



少し曇り、朝日に照らされた島も、霞れまぶすの遠景もはたいてい。

「コロナ騒動から、半年を振り返る。」

「新しい生活様式が始まって約三か月が過ぎました。ニュースでは変わらず日々の感染者数が報道され続けており、今回のコロナ騒動はまだまだ終わりが見えません。宗谷のそれぞれが学校でも、今後の見通しをなかなかはっきりと持つことができません。日々を過ごしています。密の回避、ス

クスの着用と熱中症対策、消毒作業、何より子どもたちの心のケアと、やることは山積みです。同じように、子どもたちもいろいろと制限された生活を送っています。不安を抱えていたり、コロナ禍の生活につかれ始めている子もいます。しかしながら、そんな中でも少しずつ自分たちでできることを模索している子どもたちもいます。

奮闘する子どもたち

授業時数の確保のため、削られた行事や活動も少なくありません。「コロナだから仕方がない」と思う人も多くいるでしょう。一方で日時を変えしながら、実施を決めた学校もあります。中には、子どもたち自身が、コロナ感染予防の観点もふまえた種目を考え、運動会を実施すると

ころもあります。自分たちでやるべきことを整理し、実施に向けて検討を重ねているそうです。夏休み中に子どもたちがオンライン会議を行ったという話もあります。今ある状況でどのように工夫したらよいかを考え行動する中で、コロナ禍でも成長していく姿が見られています。

これまでやってきた活動の意義とは

「時間がないから」と簡単に切り捨てることのできる活動なら、最初から取り組む意味はありません。今、これまで我々が行ってきた教育活動の意義が問われています。授業時数の確保が優先され、それ以外の活動の削減が余儀なくされているところもあります。「コロナだから仕方がない」ではなく、「これまで子どもたちにつけてきた力を、「コロナだけと同じように追及していく。」そのための工夫を出し合う議論を職場の仲間たちと重ね行くことが大切です。」

編集後記

香港の民主活動家の周庭せん、黎智英さんが香港国家安全法違反容疑で香港警察に逮捕されました。この報道を聞いて頭にすぐ浮かんだのが日本で6年前に施行された特定秘密保護法でした。「民主主義が壊れるかもしれない」として日本弁護士連合会も警笛を鳴らしていました。日本国内では逮捕・立件された人はいませんが、これは日本だからでしょうか。似た法律がある以上、日本でも同様のことは起こりえるかもしれない...情勢を学承大切さを改めて感じる出来事でした。

宗谷の「先生」をつなぐ
月刊誌「soya」2020.9

発行日 2020.9.1
発行 宗谷教職員組合
発行人 吉川 正史
〒097-0004 稚内市南2丁目4-21 宗谷教育会館
☎0162-22-2480 メール info@soya-teachers.org

私のおすすめ

私のおすすめは、網走町下沼にある「下沼湧水」です。JR下沼駅の目の前に湧き出る天然水です。宗谷管内では利尻島の湧き水が有名ですが、下沼湧水もおいしいです。家にウォーターサーバーがあります...という方もいらっしゃるでしょう。冷たい水、温かいお湯が簡単に出来るのはとても便利です。しかし、やはり自分で汲みに行くという手間が、水を一層おいしくするように感じます。私の家は水道はあるものの、地下水脈からポンプでくみ上げた地下水を使用しています。水道水を数回機会が少なかったため、小さい時から水道水は得意ではありませんでした。

宗谷に赴任してからは、遠方に近くの湧き水を汲みに行くという生活リズムが続きました。稚内から豊通に通っていたときには、水を入れるタンクを車に積み、退勤後の夜に下沼まで水を汲みに行ってから稚内に帰るという生活でした。

同僚の先生から、「そこまでなくちゃダメなの?水道水でイイじゃん」と言われたこともあります。一度おいしい味を占めたら、辞められなくなるものです。週末は数台の車が並ぶこともあります。ドライブがてら空のペットボトルを持って汲みにいってませんか??冬でも湧き出ていますよ。

[宗谷教職員組合本報/道藤 玄]



活動の意味や意義を確かめ合う 学校づくりを進めよう

